

みどころ Mikiyama

令和7年3月上旬

三木山森林公園 検索
カラー写真入りの「みどころ情報」を
HPにて掲載しています

ニホンアカガエルの卵塊と
オタマジャクシが見られます⑧⑨

サンシュユ
が咲いています③

アセビが
咲いています⑤

マンサクが
咲いています①

ウメが
咲いています④

ユキヤナギ
が咲いています②



雄は高い木のとっぺん
などに止まって、
「いっぴつ
けいしょうつかまつりそうろう
啓上仕候」
などと早口でさえすつ
ています。

ホオジロ（ホオジロ科）の雄

過去の「みどころ」はHPの
2ページ目以降にあります

オオイヌノフグリ⑥、ホトケノザ⑦は
園内各所で見られます。

アセビが
咲いています⑤

《 早春に咲く花たち 》



マンサク（マンサク科）①
葉が展開する前に開花する、線
形の黄色い花弁を持っていま
す。4個ある暗紫色の萼片も目
立ちます。



一輪咲いたユキヤナギ（バラ科）②
春を代表する花木です。枝垂れた枝
先にたくさんの花を咲かせ目を引き
ます。三木山ではまだ花の咲き始め
で、一気に多くの花が咲くのはもう
しばらく後になります。



サンシュユ（ミズキ科）③
薬用植物として渡来しました。
葉が展開する前に黄色い花を咲
かせます。写真ではほとんどが
開花直前の状態です。画面左側
の雄しべが見えている花が開花
しています。



ウメ（バラ科）④
早春を代表する香りの良い花木で
す。三木山では白梅が先に咲き、
紅梅は少し遅れて咲きます。



アセビ（ツツジ科）⑤
早春に白い花を多数つける常緑
の低木です。漢字では「馬酔
木」と書き、有毒植物です。



オオイヌノフグリ
（オオバコ科）⑥
ヨーロッパから入った一年生
草本で、コバルトブルーの花
が目立ちます。



ホトケノザ（シソ科）⑦
3月～6月にかけて紅紫色の
花が咲きます。春の七草のホ
トケノザ（キク科のコオニタ
ビラコ）とは別の植物です。

《 もうすぐ旅立つ冬鳥たち 》



ヨシガモ（カモ科）の雄
冬の三木山の池にいる一番
個体数の多いカモです。



ツグミ（ツグミ科）
今シーズン、三木山ではツ
グミを見かけませんでした
が、3月になってやっと登
場しました。



ショウビタキ（ヒタキ科）
の雌
10月頃から翌年の3月、4
月頃まで愛想の良い仕草で
三木山の野鳥観察者を楽し
ませてくれています。



マガモ（カモ科）の雄
漂鳥（冬は暖かい地域に移
動して越冬する鳥）で、令
和4年2月に三木山で見ら
れましたがそれ
以来の登場です。青首とも
呼ばれています。



ニホンアカガエル
（アカガエル科）
の最近産まれた卵塊
⑧

ニホンアカガエル
（アカガエル科）
の卵塊から生まれた
オタマジャクシ⑨



ニホンアカガエルの産卵のピークは過ぎましたが、
新しい卵塊も見られます。初期に産卵された卵塊か
らは、オタマジャクシが誕生しています。